

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：47項目

問題あり：2件

要確認：8件

問題なし：37件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

五十嵐えり（五十嵐衣里）

- 記載内容：「五十嵐えり（五十嵐衣里、1984年1月19日生）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで確認

読み仮名

- 記載内容：「いがらし えり」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、選挙ドットコムで確認

出身地

- 記載内容：「愛知県名古屋市出身」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：公式サイト、Wikipediaで確認

所属政党・選挙区

- 記載内容：「立憲民主党所属の衆議院議員（東京30区選出、当選1回）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：立憲民主党公式サイト、選挙ドットコムで確認

学歴

- 記載内容：「24歳で静岡大学法学科（夜間主コース）に入学、名古屋大学法科大学院を経て30歳で司法試験に合格」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、立憲民主党インタビューで確認

長島昭久氏の経歴

- 記載内容：「長島昭久氏という8期のベテラン（元防衛副大臣）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、長島氏公式サイトで8期、防衛副大臣歴任を確認

2. 数値情報

生年月日

- 記載内容：「1984年1月19日生」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、複数の情報源で確認

2024年衆院選得票数

- 記載内容：「98,146票（得票率41.97%）」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：98,146票は正確だが、得票率41.97%の根拠が不明
- 根拠・出典：五十嵐えり公式サイトで98,146票は確認。選挙ドットコムの東京30区ページでは投票数233,833票、投票率57.63%の記載あり

司法試験合格年齢

- 記載内容：「30歳で司法試験に合格」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：立憲民主党インタビュー、Wikipediaで確認

高認取得年齢

- 記載内容：「22歳で高等学校卒業程度認定試験に合格」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：立憲民主党インタビューで確認

3. その他の重要な事実関係

政策担当秘書の経歴

- 記載内容：「2015年に参議院議員小西洋之氏の政策担当秘書となり」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで確認

都議会議員選挙

- 記載内容：「2021年東京都議会議員選挙（武蔵野市選挙区）に立憲民主党公認で初出馬・初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：立憲民主党サイトで確認

不登校の時期

- 記載内容：「中学校時代にいじめを受け不登校となり」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：立憲民主党インタビューで「中学2年生から学校に行かなくなりました」と確認

職歴

- 記載内容：「4トントラック運転手など様々な職を経験」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：公式サイト、選挙ドットコムで確認

問題のある記載

記載内容に関する問題

- 記載内容：記事中の一部の法案提出履歴や国会発言の詳細
- 検証結果：✗要確認（多数）
- 正しい情報：記事中の多くの法案提出履歴、国会での発言回数、質問主意書の件数などが具体的な出典なしに記載されている
- 根拠・出典：これらの詳細な議会活動については、原資料（PDF文書）の内容をそのまま転載しているが、独立した検証が困難

党内役職

- 記載内容：「国民運動局副局長、政務調査会長補佐、憲法調査会事務局長、青年局事務局次長」
- 検証結果：△要確認
- 根拠・出典：立憲民主党公式サイトでは確認できず

SNSフォロワー数

- 記載内容：「約1万7千人」「1千人余り」
- 検証結果：△要確認
- 根拠・出典：2025年7月時点として記載されているが、現在は検証不可能

改善提案

修正が必要な箇所

1. **得票率の検証**：「得票率41.97%」について、東京30区の総投票数との整合性を確認し、正確な得票率を算出する必要があります。
2. **法案提出履歴の詳細**：記事中の多くの法案提出履歴や国会活動については、衆議院公式サイトや国会会議録などの一次資料での確認が必要です。

追加確認が推奨される情報

1. **党内役職**：立憲民主党内での具体的な役職について、党公式発表での確認
2. **SNS情報**：フォロワー数などの数値は変動するため、記事作成時点での正確な数値を明記
3. **質問主意書の件数**：衆議院公式サイトでの確認
4. **委員会での発言回数**：国会会議録での詳細確認
5. **議員連盟参加状況**：各議員連盟の公式発表での確認
6. **政治資金収支**：政治資金収支報告書での確認

7. **地元活動の詳細**：報告会の開催回数や参加者数などの具体的データ
8. **対立候補との比較**：選挙時の具体的な争点や得票差の詳細

全体的な評価

基本的な人物情報（生年月日、経歴、学歴、選挙結果の主要部分）については高い精度で正確です。しかし、詳細な議会活動や党内活動については、原文書の内容をそのまま転載しているため、独立した検証が困難な部分が多く含まれています。信頼性を高めるためには、これらの情報について一次資料での確認が推奨されます。